



Uppsala IW 派遣日記

派遣先：

国名：スウェーデン

都市名：ウプサラ

派遣期間：

2016年 5月 12日 ~ 5月 19日

経済学部 学科 2年 氏名 石田摩希

5月 12日 木曜日

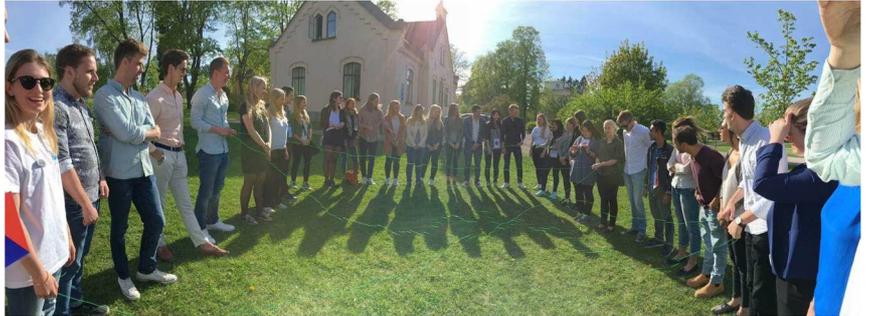
天気（ 晴れ ）

*タイムテーブル

15:00 一週間のオリエン
テーション

16:00 国紹介

18:00 夕飯



*感想（具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど）

オリエンテーションでは、一週間の拠点となった **Borgen** という建物にて **IW** を運営する実行委員である **Project Managers** の紹介や、スウェーデン、その文化についての紹介があった。自己紹介の時点からとてもフレンドリーで、その後の一週間が楽しみになった。

国紹介では一国五分以内のプレゼンテーションを発表した。一国から平均二人来ていた。発表では自己紹介はもちろんそれぞれの国の特徴、ユニークな文化など紹介し、ジョークなども交えていて一日目からとてもアットホームな雰囲気だった。インドネシアの人たちは民族舞踊を踊り、とても盛り上がった。

Dinner にはタコスを食べ、**Borgenshots** と呼ばれるウプサラ特有のショットで乾杯した。親睦をしたのち、**Borgen** の部屋で音楽が鳴りはじめダンスパーティーが始まった。私は時差であまり遅くまで参加できなかったが、ヨーロッパから来ていた人たちは朝まで **Stockholm Nation**（**Nation** はウプサラ特有の、大学生運営の **Pub**）にてパーティーをしていたらしい。

5月 13日 金曜日

天気（ 晴れのち曇り ）

*タイムテーブル

- 9:00 Borgen にて朝食
- 10:00 Uppsala City Tour
- 12:00 Lunch
- 13:30 自由時間、International Dinner
の準備時間
- 17:00 International Dinner



*感想（具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど）

トースト、ハム、トマトなどの朝食を食べたのち、**Project Manager** の一人である **Eduardo** によるウプサラのシティツアーが行われた。ウプサラの街、教会、庭園、お城などを歩いて回り、ウプサラの歴史について教わった。ウプサラは旧都だったということもあり、教会はとても立派だった。**Nation** でごはんを食べた後、町中のスーパーで **International Dinner** に必要な具材を購入した。私たちはお寿司を作る予定で、サトウのごはん、のり、寿司太郎を持って行っていたが、お寿司の中に入れるキュウリ、スモークサーモン、とびこのたまごを購入した。私のホストの **Amanda** の家に私、ゆめさん（もう一人慶應から行った日本人）、ゆめさんのホスト **Julia** と行き、四人で巻きずしを作った。簀子を使った巻きずしの作り方をホストの二人に教えたらとても面白がって、いくつも作ってくれた。

その後は自転車で 10 分ほどのところにあった建物に移動し、**International Dinner** が始まった。それぞれがそれぞれの食べ物と国のお酒を紹介したのち、ごはんが始まった。世界各地のお酒はどれもユニークで、それぞれでいちいち **Helan Gar** という国民的なお酒のコールのような歌を歌って飲んだ。多様性あふれるとても楽しい夜だった。

5月 14日 土曜日

天気（ 晴れのち曇り ）

*タイムテーブル

10:00 朝食

11:00 Norreda へ出発

Norreda にて一泊



*感想（具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど）

Norreda（Uppsala からバスで 40 分ほどの田舎）では、スウェーデンの伝統的な行事である **Midsummer** を体験した。芝生の広場の中心につたでおおわれた十字架のようなものを建て、その周りを円になってみんなで囲み、「カエルのダンス」をしながら歌うものである。そのほかにも、スウェーデンの一年間の様々な行事にて行われるゲームなどを体験し、とても盛り上がった。印象的だったのは、スウェーデン特有のサウナで温まったのちすぐに走って湖に飛び込むという遊び。湖に飛び込むこと自体よりも走る時がとても寒かったが、意外と気持ちよくていい体験になった。夜はスウェーデンの国民的料理であるミートボール、ポテト、**Crayfish**（小さなざりがに）を食べた。ザリガニは素手で割って食べる上に少し臭みが強かったが、おいしかった。その夜は、大きめのコテージの一つで音楽をガンガン鳴らしてパーティーだった。完全にディスコ状態でとても楽しかった。小さなコテージが五つほどあったので、寝るときはみんな相部屋で寝た。

5月 15日 日曜日

天気（ 雨 ）

*タイムテーブル

11:00 Norreda を出発

12:30 Lunch

14:00 Movie time

19:00 Vastmanland-Dala Nation にて
夕飯



*感想（具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど）

簡単な朝食の後、Uppsala までバスで帰った。本当はカヤックをするはずだったのが悪天候によりキャンセルになってしまったため、Borgen にてみんなで映画を見た。はじめの三日間がハードだったため、良い休憩になり、またみんなで映画に笑っていい時間だった。私は参加しなかったが、スウェーデンの伝統料理であるシナモンロールを作った人もいた。夜はみんなで移動し、Nation にて夕飯を食べた。私が ID を忘れ一人入りそびれそうになったが、オーガナイザーの子が全員の分の ID のコピーを持ち歩いてくれたおかげで入れた。ハンバーガーとともにアップルサイダー（お酒）を飲んでみんなと話してとても楽しい夜だった。

5月 16日 月曜日

天気（曇り）

*タイムテーブル

7:30 Borgen 集合

8:00 Stockholm へ出発

15:00 Spotify 訪問

18:00 夕飯

21:00 ホステル到着



*感想（具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど）

朝早く集合し、Participants と Organizers に到着してからはフェリーに乗り、町の中心地へと移動した。オーガナイザーの一人である Camilla がストックホルムシティツアーをしてくれ、旧市街地、国会、お城など様々な場所を案内してくれた。そのあとは二班に分かれ、一つの班はヴァーサ号博物館、もう一班は ABBA ミュージアムへと向かった。私は Camilla よりたくさん「ヴァーサ号」の話を聞いていて、一度見たいと思ったためこれを見に行った。ヴァーサ号とは、1628年にスウェーデンの有名な王グスタフ・アドルフによって作られた戦艦で、建造後まもなく海底に沈み333年間も海底にあったものが19年代半ばに引き上げられたものである。巨大な戦艦は迫力満載でとても興味深かった。ABBA ミュージアムはとても Interactive だったらしく、いった子たちはすごく楽しんでいる様子だった。その後は二班共に市内で合流し、ランチを済ませた後、Spotify という音楽配信アプリの会社を訪問した。日本にはまだ上陸していないが、ヨーロッパではかなり人気でみんなこれを楽しみにしていた。本社は Google の建物のように仕事場はポップな雰囲気、ゲームルームやカフェなどがあってさすがワークライフバランスがよく取れているなど実感した。社内を案内してもらったのちは Spotify で働く人たちとの交流会があり、そのあとはレストランへ行き夕飯を食べた。

5月 15日 日曜日

天気（ 雨 ）

*タイムテーブル

9:00 Skanska 企業訪問

13:00 Uppsala へ出発

16:45 Pizza Dinner

18:00 Pub Crawl 開始



*感想（具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど）

朝一で Skanska という建設会社の Solna 病院建設現場にお邪魔した。Solna 病院は世界でもトップレベルの病院で、六年前から建設が始まっているらしいが、高度な技術を要求されるためまだまだ建設途中であった。無人で重い荷物を階間わず運んでくれるロボット、最先端技術のそろった病室などが見られてとても興味深かった。ランチに病院の外の芝生でピクニックをしたことも楽しかった。企業訪問後、バスで二時間くらいかけて Uppsala に戻り、ホストの家で少し休んだのち、町から少し離れた場所のピザ屋さんにてみんなでごはんを食べた。Uppsala での移動は基本自転車だったが、この日は初めて晴れて特に気持ちよかった。ピザでおなかを満たした後、Pub Crawl が始まった。Pub Crawl では、四つの班に分かれ、四つの Pub を回った。各班にいくつものミッションがかかれた紙が渡され、例えば「町中の銅像の前でクレイジーな写真を撮る→30ポイント」などミッションによって点がもらえ、各班で誰が一番多くポイントを稼げるか競った学生の街だからこそできるクレイジーな体験で、とても楽しかった。

5月 18日 水曜日

天気（ 晴れ ）

*タイムテーブル

9:15 Borgen 集合

11:00 International OfficeにてFIKA

13:00 Lunch

16:00 Borgenにて前飲み

17:45 Gasque 開始



*感想（具体的なプログラム内容や特に印象深かったエピソードなど）

朝に Borgen で集合したのち、みんなで歩いて町中のカフェまで行った。Uppsala 最古の老舗のカフェで、シナモンロールをいただきながら Uppsala 大学のインターナショナルオフィスの方よりウプサラ大学についてのお話を聞いた。その後は自由時間だったが、私は Gasque（ウプサラ特有のフォーマルなディナー）にて参加者を代表してスピーチをすることになっていたのので、もう一人の Matius という男のことそのため原稿を書いた。終わってからはホストの Amanda の家に戻り、一緒に髪の毛をまいたりネイルをしたりを楽しんで Gasque に備えた。完成してから Borgen に向かうと、外にはかわいい飲み物が並んでいて、みんなでそれを飲みながら記念撮影をした。Borgen からみんなで Gasque が行われる Nation へと向かった。Gasque ではウプサラの Gasque でのルール（勝手に立ち上げってはいけない、ディナーが終わるまでお手洗いに行ってはいけないなど）を守りながらおいしいごはんを食べたが、ディナーだけではなくステージ上の司会による楽しい出し物、Nation の人たちの楽器演奏、オーガナイザーたちの芸なども楽しんだ。スピーチをさせてもらったときはみんなが温かく見守ってくれ、とても良いメンバーに恵まれたなと実感した。ディナーでは Songbook というスウェーデンの飲み場での歌の歌詞カードが一人一冊配られ、お互いにそれにメッセージを書き合った。フォーマルなディナーの後はまたみんなでパーティーして、とても楽しい夜だった。